



# コンビニエンスストアの皆様へ 労働災害を防止しましょう！

都内の小売業では、広い店舗内でのつまずき、滑りにより転ぶ「転倒」及び大量かつ重い商品の取扱いで筋をちがえる、くじく、ぎっくり腰になる「動作の反動・無理な動作」と呼ばれる労働災害で全災害の約5割を占めます。

特に飲食料品を中心とする数多くの商品を取り扱っており、早朝から深夜まで長時間営業を行うコンビニエンスストアでは、商品補充が頻繁、火気・油等を取り扱う、陳列密度が高い等の特徴があるため、以下のような災害が発生しやすくなります。

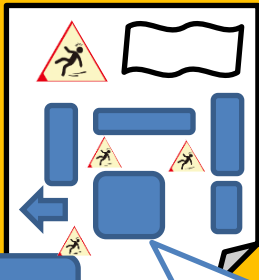
- ⚠️ 通路が狭く、商品補充等の店内移動が頻繁なため、つまずき、滑りにより転ぶ
- ⚠️ おでん、肉まん、コーヒー、店内調理を行うホットスナックを扱う際にやけどする
- ⚠️ 商品の保管時や天井POPの吊り下げ時に脚立等を使用し脚立等から落ちる

労働災害防止には、危険個所などの「見える化」をはじめとする安全意識の向上、雇い入れ時の安全衛生教育が重要となります。

さあ、職場に合った効果的な労働災害防止対策をしてみましょう！



## 転倒防止対策のポイント



### 転倒⑤

段差のある個所や滑りやすい場所などにマーカー、テープなどで「見える化」をやってみよう！

そして、転倒危険マップを作成し、バックヤードなどで周知しよう！



### 転倒①

歩きスマホ、大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で階段の移動はダメ！

### 転倒②

作業を行う際は、接地面積が広く、滑りにくい靴を！

### 転倒③

水や油で床が濡れたらすぐに拭く！

### 転倒④

通路、階段、出口に物を置かない！

### 災害事例

- ケース1 濡れた床の清掃中、足を滑らせ転倒、床面に頭部・胸部を打撲し死亡。(68歳女性)
- ケース2 事務所内のついたてのベースにつまずき転倒、頸椎を骨折し死亡。(62歳男性)



～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心～

東京労働局・労働基準監督署



# やけど防止対策のポイント

## やポ①

油の交換作業やメンテナンスの時は、油を**最低90℃以下**に冷ましてから！

## やポ⑤

おでん等の高温のスープ等の容器を運ぶ際は、**声を掛け、ゆっくり歩く**！

## やポ④

コーヒー抽出作業や抽出後のフィルター交換は注意！**手元をよく見て**作業！

## やポ③

調理箇所付近での転倒は、やけどにつながることも！**整理・整頓・清掃**！

## やポ②

フライヤーを使う際には、**長靴、エプロン、耐熱手袋**を着用しよう！

**ケース1** フライヤーの清掃中、ヒーターが下りた衝撃で油が跳ね負傷。休業1ヶ月。(33歳女性)

**ケース2** 移動中、濡れた床で滑り転倒、高温の寸胴鍋に接触し負傷。休業1ヶ月。(59歳女性)

### 災害事例



# 脚立等からの墜落防止対策のポイント


## 墜ポ①

陳列棚の上段には、**大きいもの、重いものを陳列しない**！

## 墜ポ⑤

身体のバランスをしっかり保持するよう、昇降時は**荷物を手に持たず**に、三肢で支える**3点支持**！

## 墜ポ②

脚立の危険内容などが一目でわかる「墜落危険マーカー」で「見える化」を！

## 墜ポ④

経験の浅い従業員には、脚立の正しい使い方指導を行い、作業時は**複数人**で行おう！

## 墜ポ③

天井POPをつける際等は、脚立の天板に乗ったり、またいだ状態で作業せず、上から**2段目以下**の**踏ざん**に乗って身体を固定した状態で作業する！

**ケース1** 商品の棚卸し作業中、脚立から降りる際に転落し、後頭部を打ち死亡。(70歳男性)

**ケース2** 両手に荷物を持ち、階段を下りていたところ、転落し頭を打ち死亡。(55歳男性)

### 災害事例

上で使用している「見える化ステッカー」 & 「マーカー」 の活用をぜひ！

東京労働局では、「Safe Work TOKYO 2018」を展開しており、小売業・社会福祉施設・飲食店等の労働災害の防止に関する様々な情報を掲載しています。

[https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news\\_topics/topics/2017/9\\_00002.html](https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/2017/9_00002.html)

